

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-299131

(43) 公開日 平成9年(1997)11月25日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 5 D 8/12			A 4 5 D 8/12	
8/00	5 0 1		8/00	5 0 1 C
	5 0 3			5 0 3 D

審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平8-119837
(22) 出願日 平成8年(1996)5月15日

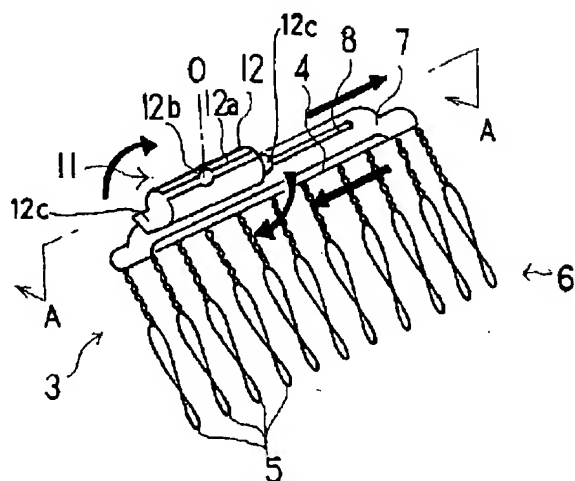
(71) 出願人 596067526
有限会社新樹
埼玉県越谷市東町2丁目150-4
(72) 発明者 鈴木 正昭
埼玉県越谷市東町2丁目150-4
(74) 代理人 弁理士 西脇 民雄

(54) 【発明の名称】 髪飾り

(57) 【要約】

【課題】 毛髪の流れ方向の如何にかかわらず、髪飾り本体を所要の向きとして容易に装着することのできる髪飾りを提供する。

【解決手段】 毛髪への装着部となるコーム部3とこのコーム部3に支持される髪飾り本体2とを有する髪飾り1において、前記コーム部3にはピン15を介して回転可能とした支持部11を設け、前記髪飾り本体2を前記支持部11を介して支持させた。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 毛髪への装着部となるコーム部とこのコーム部に支持される髪飾り本体とを有する髪飾りにおいて、前記コーム部には枢軸を介して回動可能とした支持部を設け、前記髪飾り本体を前記支持部を介して支持させたことを特徴とする髪飾り。

【請求項2】 請求項1記載の髪飾りにおいて、前記コーム部にはそのコーム部の歯部に交差する方向に延在するガイド手段を設けるとともに、このガイド手段に沿って摺動可能に前記枢軸を設置したことを特徴とする髪飾り。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、コーム式の装着部を有する髪飾りに関するものである。

【0002】

【従来の技術】髪飾りは、一般に髪飾り本体とその髪飾り本体を毛髪に保持させるための装着部とを有するものであり、従来からその装着部をコーム（櫛）式に形成したものがある。

【0003】このようなコーム式の装着部を毛髪に装着する場合、コームの歯部を毛髪の流れ方向に対して一定の向きにすることが必要である。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】ところで、毛髪の流れ方向は、ヘアスタイルにより種々の向きとなるうえ、頭部に装着した状態での髪飾り本体にも方向性がある。

【0005】この種のコーム式の装着部を有する従来の髪飾りにおいては、装着部となるコーム部に対して髪飾り本体が固定的に設けられていたため、毛髪の流れ方向によっては所望の部位にその髪飾りを装着すると、髪飾りの向きが所要の状態とならず、髪飾りの装着が困難となる場合を生じることがあった。

【0006】この発明は、このような事情に基づいてなされたもので、毛髪の流れ方向の如何にかかわらず、髪飾り本体を所要の向きとして容易に装着することのできる髪飾りを提供することを課題とするものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】この課題を解決するために、請求項1記載の発明は、毛髪への装着部となるコーム部とこのコーム部に支持される髪飾り本体とを有する髪飾りにおいて、前記コーム部には枢軸を介して回動可能とした支持部を設け、前記髪飾り本体を前記支持部を介して支持させたことを特徴とする髪飾りである。

【0008】また、請求項2記載の発明は、請求項1記載の髪飾りにおいて、前記コーム部にはそのコーム部の歯部に交差する方向に延在するガイド手段を設けるとともに、このガイド手段に沿って摺動可能に前記枢軸を設置したことを特徴とする髪飾りである。

【0009】

【発明の実施の形態】以下、図面によりこの発明の実施の形態を説明するが、まず、図1から図5に示す第1の実施の形態を説明する。

【0010】図において、1は髪飾りを示し、例えば図4に示すように女性が頭部に装着して使用するものである。

【0011】髪飾り1は、リボンや造花および飾り房などからなる髪飾り本体2と、このような髪飾り本体2を毛髪に装着するためのコーム部3とを有するものであり、このコーム部3は髪飾り本体2の背面側に設けられている（図2参照）。

【0012】この実施の形態のコーム部3には、金属板製のコーム基部4とこのコーム基部4から平行に延在された8本のコーム歯部5からなるコーム6が形成されている。

【0013】なお、この実施の形態において、コーム歯部5はいずれも金属線材を屈曲させて形成したものである（図1参照）。

【0014】そして、このコーム部3においては、前記コーム基部4の表面側には、両端部をコーム基部4に固着するとともに中間部をコーム基部4の表面から離間するように、ガイド部材7が設置されている。

【0015】このガイド部材7は金属板からなり、このガイド部材7には前記コーム基部4の長手方向に延在するガイド孔8が形成されている。

【0016】このようなガイド部材7のガイド孔8には、髪飾り本体2を取り付けてこれを支持する支持部11が次のように構成されている。

【0017】すなわち、支持部11は、髪飾り本体2を取り付ける支持部材12と、この支持部材12を前記ガイド部材7に取り付ける取付部13とを有するものである（図3参照）。

【0018】支持部材12は、表面側にスリット12aの形成された金属製の略筒状体からなり、この筒内に髪飾り本体2の被着部14を圧入することにより、髪飾り本体2が取り付けられるようになっている。

【0019】そして、このような支持部材12は、その中央部分において、前記ガイド部材7のガイド孔8を挿通させたピン15をかしめることにより、ガイド部材7に取り付けられる。

【0020】このピン15のかしめに際して、ガイド部材7の裏面側には前記ガイド孔8の幅寸法より大径の座金16を配置し、表面側の支持部材12のスリット12a中に形成された開口部12bからかしめ工具を挿入してかしめ作業が行なわれる。

【0021】なお、このかしめの圧力は適度な値で行なわれ、前記支持部材12は過度にぐらつかずにガイド孔8の長手方向に摺動可能で前記ピン15（本願の枢軸に該当する）の軸心まわりで回動可能となる。

【0022】このようにして形成されたコーム部3を有

3

する髪飾り1を例えば図4に示すように装着して使用する
場合、前記コーム部3のコーム歯部5は、毛髪の流れ
方向に対して所要の向きに装着することとなり、これに
連れて髪飾り本体2の向きが傾斜することとなる。

【0023】しかし、この実施の形態の髪飾り1におい
ては、前記したように、髪飾り本体2がピン15まわり
に回転することができるので、図5に示すように、コー
ム部3の向きにかかわらず髪飾り本体2を所要の向きに
修正することが容易である。

【0024】また、髪飾り本体2を取り付ける支持部材 10
12がガイド部材7に対してガイド孔8に沿って摺動可
能であるので、頭部への髪飾り本体2の装着位置を微調
整することができる。

【0025】次に、図6および図7により第2の実施の
形態を構成するコーム部21について説明する。

【0026】この第2の実施の形態を構成するコーム部
21は、前記した第1の実施の形態のコーム部3とは、
コーム歯部の本数とその長さ寸法およびガイド部材が設
置されていない点で相違する。

【0027】以下の説明においてはこれらの相違点につ
いてのみ説明を行うこととし、前記した第1の実施の形
態と同様のものについては同一の参照番号を付与してそ
の説明は省略する。

【0028】すなわち、第2の実施の形態のコーム部2
1には、金属板製のコーム基部4とこのコーム基部4か
ら平行に延在された3本のコーム歯部22からなるコー
ム23が形成されている。

【0029】これらのコーム歯部22は、前記した第1
の実施の形態のコーム歯部5に較べて本数が少ない代わ
りにその長さ寸法が長く設定されている。

【0030】このようにコーム歯部22の長さ寸法を長
く設定してあることにより、髪飾り1を装着すべき部位
において毛髪が短い場合や毛髪量が少量であってもし
かり装着することができる。

【0031】なお、この実施の形態においても、これら
のコーム歯部22は金属線材を屈曲させて形成したもの
である。

【0032】そして、この実施の形態のコーム部21に
おいては、直接コーム基部4に支持部11が構成されて
いる(図7参照)。

【0033】すなわち、支持部11は、コーム基部4の
表面中央に一端をコーム基部4に固着したピン24を立
設させ、このピン24に複数枚の座金25を積層したう
えて支持部材12を配置し、このピン24を前記と同様
に支持部材12のスリット12a中に形成された開口部
12bからかしめ工具を挿入してかしめ付けて取付部2
6を形成したものである。

4

【0034】このように構成された支持部11におい
ても、支持部材12は前記ピン24(本願の枢軸に該当す
る)の軸Oまわりで回転可能である。

【0035】したがって、このようにして形成されたコ
ーム部21を有する髪飾りであっても、前記コーム部2
1のコーム歯部22を毛髪の流れ方向に対して所要の向
きに装着することにより、髪飾り本体2の向きが傾斜す
ることとなる場合にはその向きを容易に調整することが
できる。

【0036】

【発明の効果】以上説明したように、請求項1記載の発
明によれば、この種の髪飾りにおいて、コーム部に枢軸
を介して回転可能とした支持部を設け、これを介して前
記髪飾り本体を支持させてあるので、コーム部の向きを
毛髪の流れ方向に対して適切な向きとしても枢軸まわり
に髪飾り本体の向きを容易に修正することができ、毛髪
の流れ方向の如何にかかわらず所望の部位に所要の向き
に髪飾りを装着することができる。

【0037】また、請求項2記載の発明によれば、コー
ム部にはそのコーム部の歯部に交差する方向に延在する
ガイド手段を設け、このガイド手段に沿って摺動可能に
前記枢軸を設置してあるので、前記の他、髪飾り本体の
装着位置を容易に微調整することもできる。

【図面の簡単な説明】

【図1】第1の実施の形態における髪飾りのコーム部の
斜視図である。

【図2】髪飾り本体を仮想線で示したコーム部の正面図
である。

【図3】図1のA-A線に沿う断面図である。

【図4】髪飾りの装着例を示す図面である。

【図5】コーム部を実線で示した、図4の要部拡大図で
ある。

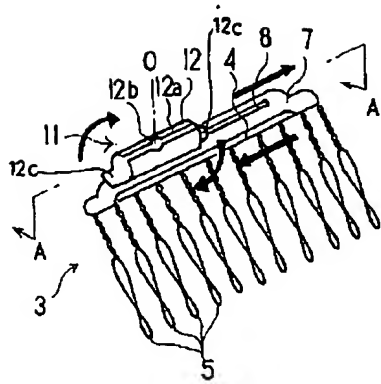
【図6】第2の実施の形態を構成するコーム部の正面図
である。

【図7】図6のB-B線に沿う断面図である。

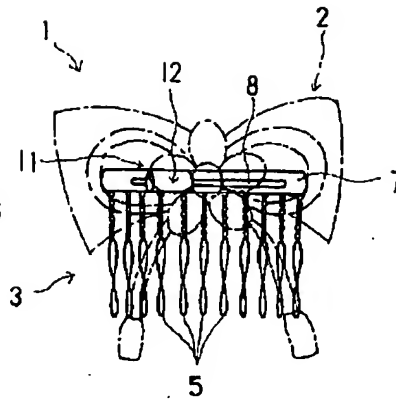
【符号の説明】

- 1 髪飾り
- 2 髪飾り本体
- 3 コーム部
- 5 コーム歯部
- 7 ガイド部材(ガイド手段)
- 11 支持部
- 15 ピン(枢軸)
- 21 コーム部
- 22 コーム歯部
- 24 ピン(枢軸)

【図1】



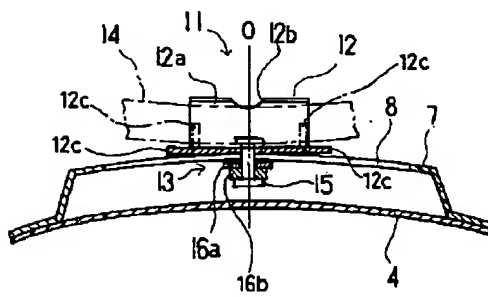
【図2】



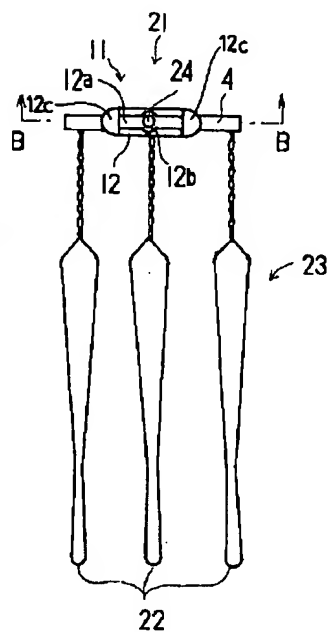
【図4】



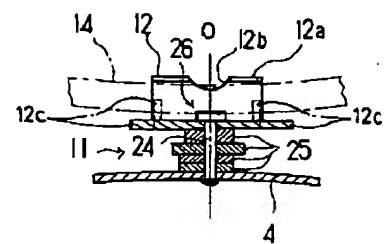
【図3】



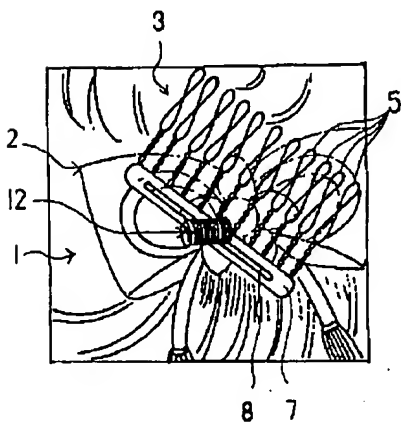
【図6】



【図7】



【図5】



PAT-NO: JP409299131A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 09299131 A
TITLE: HAIR ORNAMENT
PUBN-DATE: November 25, 1997

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
SUZUKI, MASAOKI

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
KK SHINJIYU N/A

APPL-NO: JP08119837

APPL-DATE: May 15, 1996

INT-CL (IPC): A45D008/12, A45D008/00 , A45D008/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To fit a hair ornament on a desired position of hair in a desired direction, by equipping a support part made rotatable via an axis on the comb part and supporting the hair ornament main body via the support part.

SOLUTION: This hair ornament 1 has a hair ornament main body 2 comprising a ribbon, an artificial flower, and a decoration tassel and a comb part 3 for mounting the hair ornament main body 2 on hair, and the comb part 3 is set on the back side of the hair ornament main body 2. A comb 6 comprising a comb base part 4 made of a metal plate and eight comb teeth 5 extended in parallel from the comb base part 4 is formed on the comb part 3. A guide member 7 is equipped on the surface side of the comb base part 4. A support part

11 to
support the hair ornament main body 2 attached thereon is formed on a
guide
hole 6 of the guide member 7. When the hair ornament 1 with the comb
part 3 is
to be used, the comb teeth 5 of the comb part 3 are mounted in a
desired
direction to the hair flow direction and the direction of the hair
ornament
main body 2 is tilted therewith.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO